

首都圏大曲会会報 第12号

# ふるさと大曲

題字 瀧谷一男

平成23年12月発行 発行所: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局  
電話 03(5213)2028 FAX 03(5213)2029 e-メール: info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info



大曲夏まつり



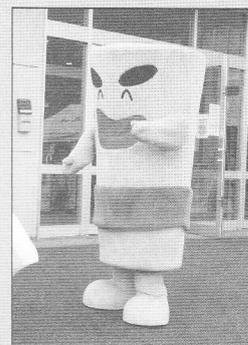
丸子川夕やけ音楽祭



丸子川には花火が似合う



大農祭仮装パレード



つつどん

## 冬も元気だ！大曲

### 首都圏大曲会会報 第12号



大曲工業高校“大工祭”のパレード



“花火灯笼”の前で踊るおばこたち(四ッ屋まつり)

秋田県特別栽培農産物認証

**アキタコマチ は  
今年も豊かに稔りました。**

世紀の節目である西暦2000年(平成12年)、私は「伊勢神宮新嘗祭献穀田」を斉行する機会を与えていただきました。これを契機に、自然環境と食の安全には特別の関心を払う米づくりに目覚め、これまでも増して努力しながら今日に至っております。

ここで初めて「内城菌」に出会いました。画期的なパワーを発揮するこの菌は、従来厄介者として扱われてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これによって土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易く、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。私のこだわりは、この肥料を使って生産する有機米です。

「内城菌」の使用によるこのリサイクル農法は、私たちに食の安全と喜びを与えてくれます。これからも「私のこだわり米」に取り組み、豊かな大仙市の大地を後世に引き継いでまいります。

佐藤 久男

評判が評判を呼んで…  
ただ今ご注文受付中!

「安全・安心」  
食感が自慢の  
有機米アキタコマチ  
生きる だから  
内城菌パワーが  
こだわり米



(内城菌の散布)

【ふるさとのアキタコマチ】Fax注文票

ご注文Fax番号⇒ 0187-62-5614

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	30 kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壌)	3,000円 ( 個)	5,000円 ( 個)	13,000円 ( 個)
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壌)	2,300円 ( 個)	3,800円 ( 個)	10,000円 ( 個)
ご注文合計数	( 個)	( 個)	( 個)

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

電話⇒

\* いずれも送料は当方で負担します。数量に限りがありますので品切れの際はご容赦願います。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男  
電話0187(66)1702 Fax0187(62)5614

大曲の話題

三浦教育長東京で講演会  
文科省が実施する学力調査で知られるように、秋田県の教育は全国でトップクラス。それは学校、家庭、地域社会の、行政との協力関係がうまく機能しているからといわれます。大仙市の三浦憲一教育長は1月22日(日)、東京でその実態報告の講演を行います。

主催は(社)日本家庭生活研究協会。会場は東京・千代田区の日本教育大学院大学。お問合せは、03(5213)2028まで。

◆大仙市の教育をテーマに  
三浦教育長東京で講演会  
文科省が実施する学力調査で知られるように、秋田県の教育は全国でトップクラス。それは学校、家庭、地域社会の、行政との協力関係がうまく機能しているからといわれます。大仙市の三浦憲一教育長は1月22日(日)、東京でその実態報告の講演を行います。

◆増えているぞ高齢者被害  
大仙市でも高齢者を対象とした悪徳商法が後を絶たないようです。  
「私は大丈夫」と思っている、相手は「だましのプロ」「言葉巧みに高齢者の不安をあおり、狙った人の心理につけこんでいきます。被害を防ぐには、普段からの注意が必要。そのためにも手口を知っておくことが大切です。」

手口1 家庭訪問販売  
手口2 電話勧誘販売  
手口3 次々販売(一人の消費者に、次から次へと契約させる)  
手口4 販売目的を隠す(アンケートに協力を)など  
手口5 催眠方法(閉め切った会場に集め、冷静な判断ができないようにさせ高額商品を売る)  
手口6 かたり商法(消防署員などのふりをして売りつける)

※大仙市広報「だいせん日和」より  
◇花火大会前の一週間  
大曲の花火ウィーク賑う!  
8月27日の「大曲の花火」を前にした8月21日から27日までの7日間、「大曲の花火ウィーク」が賑やかに繰り広げられました。これは大曲の花火見物に訪れた観光客に、大曲と秋田の魅力が披露し、楽しんでもらうことを目的に花火ウィーク実行委員会が企画して今回から実施したものです。駅前から続く花火通り商店街と丸子橋特設会場がそのイベントエリアとなり、「光・食・音」のエンターテイメントでのおもてなしとして大好評でした。

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第12号 目次

□カメラ片手に のんびり ゆっくり…………… 4  
冬が近づくと大曲周辺を歩く 撮影 藤田征二

平成23年度 首都圏大曲会総会兼懇親パーティー…………… 6  
■参加者百五十名を超す盛況、帝国ホテルに大曲の熱気あふれて

□感動を呼んだ「大曲の花火」被災者招待、辛かった思いも星の彼方へ…………… 10

〔ご案内〕 第3回 東京で「大曲の花火」を観る会…………… 12  
○開催日 平成24年2月19日(日) ○会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

■第2回 四ツ屋まつり——生涯学習の成果発表…………… 14

大曲の納豆汁 台湾で大好評 大曲商工会議所青年部の意欲的活動…………… 16

◆大仙市への進出企業【訪問シリーズ②】  
ナガイ白衣工業株式会社 医療・介護用白衣製造の大手企業…………… 20

■ふるさとの昔つこ  
長沢の地蔵さん物語 文 平野栄司 切り絵 塩谷良二…………… 24

〈羽ばたく若者たち〉  
津軽三味線で大成をめざす 畠山一 洋さん…………… 19

大曲の話題 3 ふるさと納税 13 編集後記 25  
〈台詞のひらば〉…………… 26

俳句 朱華 仲間を訪ねて「東京海峡」作詞の佐藤重光さん 26  
カメラ紀行(晩秋 吹割の滝に行く) 斉藤貞助 27

タカヤナギは  
秋田の「地産地消」  
「美味・安心・安全」をお届けします。



大仙市・仙北市・秋田市・由利本荘市・横手市・湯沢市



刈入れがすみ広々とした田圃の向こうに西山が近い



カメラ片手に

のんびり ゆっくり

冬が近づくと

大曲周辺を歩いて見ると…

街やその周辺には、四季それぞれの形があり色が  
あり、そして音や香りを感じます。『ふるさと大曲』  
を読んでくださるみなさんは、大曲にどんな匂い、  
どんな郷愁を感じますか。今月号でも、毎回大曲の  
情報として、最近の町の様子を写真にして届けてく  
ださる藤田征一さん(大仙市大曲丸の内在住)に、  
冬近い大曲周辺をカメラ片手に歩いて頂きました。

穂が揺れる



稲を干す稲架も今では珍しい(泉町 平安閣付近で)

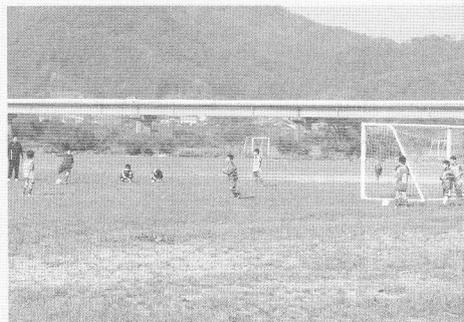
丸子川タヤけ音楽祭で  
演奏を待つ小学生たち



撮影 藤田 征一  
(大仙市大曲丸の内町在住)



丸子川タヤけ音楽祭では  
威勢のよい太鼓も鳴り響いた



雄物川河畔のサッカー場では  
秋空の下、サッカー少年たちが  
元気にボールを追いかけていた

# 大農祭の仮装行列が通り過ぎて 行くと 大曲の秋たけなわとなる

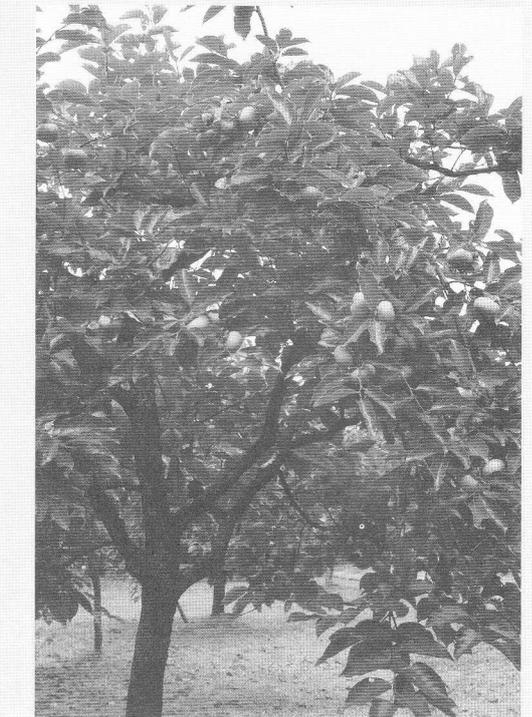
大曲界限は春夏秋冬それぞれ趣きを変え、そこに住む人々に潤いや刺激を与えてくれます。各高校の学校祭も市民が楽しみにするイベントの一つ。冬を前に、町には楽しさが溢れています。

大農祭  
賑やかにパレードが始まった



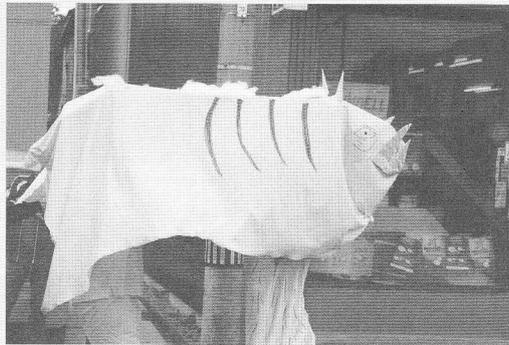
川面を渡ってくる風に土手のススキが白い穂を揺らしていた

## 雄物川の土手に 銀色にススキの



深まる秋 色づく柿の実(農業科学館果樹園で)

豚くん おやトシカツの材料？  
(大農祭の仮装行列から)



大曲なかよしウォーキング  
坊やは一人だけで逆行ですか



### グランドパレス川端グループ

グランドパレス川端グループ 検索

グランドパレス川端 プライダルハウス『フォレスト』  
クリスタルサーカス『フォレスト』

山の手ホテル 葬祭千の川『顕彰庵』

フォーシーズン 葬祭千の川『沙羅』

### 大曲商工会議所

会頭 佐々木 繁治

〒014-0016 秋田県大仙市若竹町33番7号  
TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265  
URL <http://www.obako.or.jp/kaigaisho/>

平成23年度

首都圏大曲会

総会 兼

懇親パーティー



歓迎の挨拶をする  
大釜茂璋首都圏大曲会会長



# 百五十名を超す盛況

## 帝国ホテルに大曲の熱気あふれて

大仙市大曲地区をふるさととする首都圏在住者が集う首都圏大曲会。今年も七月二十三日、午前十一時半から帝国ホテル「光の間」で恒例の総会兼懇親パーティーを開催しました。好天に恵まれたこの日、懐かしい顔が揃って賑やかな雰囲気となりました。三月の大きな災害に胸を痛めた人たちも、この日は心を開いて同郷の仲間との交歓を楽しみました。

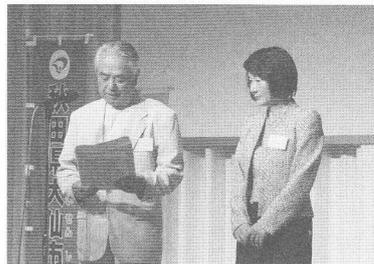
乾杯の発声をする賢木大曲商工会議所副会頭



祝辞を述べる栗林次美大仙市長



盛会を祝う児玉大仙市議会(当時)議長



監査報告をする大川、小松監事

### 百五十名もの参加、

### 地元から栗林市長など

平成二十三年度の総会兼懇親パーティーは百五十名の参加で大変盛況でした。地元大仙市からは栗林市長、児玉市議会議長、賢木大曲商工会議所副会頭をはじめ大曲地区選出の市議会議員や市役所各関係部署職員などが参加してくださいました。

この日は多数の参加が見込まれたことから開催準備は朝から大忙し。特産品販売コーナーの設置やふるさと納税の説明ブース設置、来場者受付、お土産袋の作成、お

新酒

12月13日発売予定

しぼりたての  
おいしさ  
お届けします。

今年もおいしい新酒ができました。  
華やかな香りと爽やかでありながら、  
口に広がる旨味。  
淡雪を思わせるさらさらのお酒です。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

(名) 鈴木酒造店  
大仙市長野子二丁目9  
電話 0187-562121

1.8L ¥2,247 / 720ml ¥1,124

秘境温泉 神秘の湯

自然の恵みに包まれ、満ち溢れる乳白色の湯

## 黒湯温泉

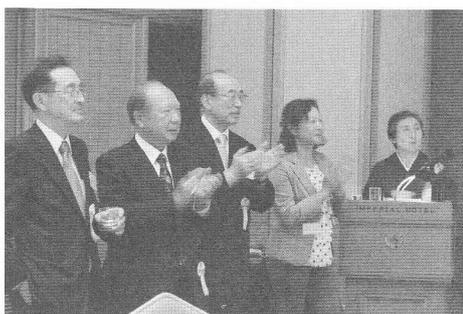
〒014-120 1仙北市田沢湖生肉字黒湯沢2-11  
TEL 0187(46)2214 Fax0187(46)2280  
URL <http://www.nyuto-onsenkyo.com>



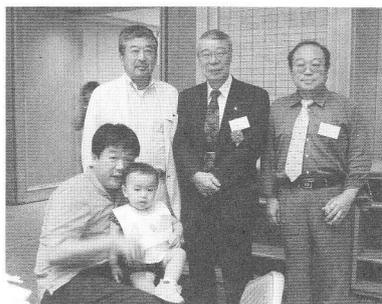
平成23～24年度の幹事紹介(受付業務などで一部幹事のみ紹介)



総会司会担当の大友副会長(右)と、来賓「妙乃湯」の女将佐藤京子さん



ステージに拍手を送る幹事のみなさん



栗林市長を囲んで



幼馴染がそろって

## 大曲がふるさと 大曲大好きな顔・顔・顔



おしゃべりの話題はつきず



グラスの中身はアルコールですか？



美人さんと並び大いに照れるのもふるさと会

楽しみ抽選の景品仕分けなどフル回転でした。  
 総会が始まる前の午前11時から、総会の恒例となった大曲の花火の映像が、今年も華やかに流れました。昨年は「大曲の花火100年」という記念すべき年にあたりましたが、それだけに打ちあげられる花火はどの作品ともに力のこもったものばかり。開会前の慌しい雰囲気の中にありながら、しばし昨年の大曲の感動に耽る人、初めて見る人はその迫力に目を見張り、世界に誇る大曲の花火に圧倒されながら、心も軽やかに総会の雰囲気へと入っていきました。

### 大震災被災者に黙祷を捧げて開始

三月十一日に発生した東日本大震災が、日本列島を未曾有の悲劇に陥れたことは今更説明するまでもありません。同じ東北地方にありながら、秋田県は大きな災害からは免れることができました。しかし心無い他地区における風評被害は、秋田県にも少なからぬ影響があり、特に温泉地をはじめ観光地は被災地と同一ような影響を受けました。私たちはこのような被害に対しては心から同情し、出来る限りの支援を続ける必要があります。遅々として進まぬ政府の動きにいらつきながらも、たくましく立ち上がり行動を取る人々に拍手を送り、支援に立ちあがったものです。自宅が崩壊あるいは津波で流失した人々を思い、また犠牲

になり命をなくした人々にたいして、総会の開会を前に参加者全員で、心から哀悼の意を捧げ黙祷をしました。

十一時三十分、総会は大友副会長の司会で開始されました。

開会にあたり首都圏大曲会大釜会長は、「遠く離れて暮らしていても、ふるさとの発展を願わない人はいない。ふるさとを大事にする心、ふるさとに感謝する心、そ

のための行動は尊い。交通機関・情報手段が発達した現在、首都圏に暮らす私たちと大仙市との距離は今やないに等しいのです。私たち首都圏に住む人も大曲に住む人々と一緒に歩み、共に考え、行動する工夫、お互いに知恵を出し合いふるさとの発展に尽すことが大切」と挨拶しました。

次いで昨年度の活動並びに会計報告がなされ、大川監査より監査

報告があり、全員一致で承認されました。

引き続き本年度の活動計画並びに予算説明があり、これも全員一致で承認されました。

次いで今年、新幹事選出の年にあたります。発表された新幹事を、参加者全員の拍手で承認。その後幹事一人ひとりをステージ上で紹介し、滞りなく総会を終えました。

### 日本中を元気にする大曲の花火

続いて来賓を代表して大仙市栗

林市長、児玉市議会議長から祝辞を頂きました。その後、大仙市総合政策課副主幹の高橋正人さんが「ふるさと納税」の説明をし、協力を求めました。

「ふるさと納税」で大仙市は、秋田県内でもトップクラスの成績をあげていると言われます。それはそのまま大仙市出身で県外在住者の、古里への思い入れの強さを物語っています。

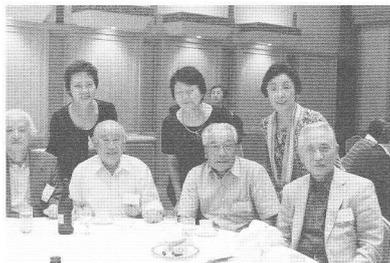
乾杯の発声は大曲商工会議所副会頭の賢木新悦さんにお願いしました。賢木副会頭はNPO法人大

大曲訛りと賑やかな笑いが飛び出せばホンモノのふるさと会



高田洋子さんのフラダンスは総会でおなじみのショー

## 仲間が集って



同級生がそろった感じです



日本民謡の千葉とし子さん  
今回は洋装での出演でした



久しぶりのご対面ですか

曲花火倶楽部会長の立場からも、今年第85回大会の紹介もしてくださいました。それは、「がんばろう！大仙 がんばろう！東北！」「がんばろう！日本！」と、大曲の花火で東北は勿論、日本を元気にさせようという壮大な

意気で開催する「全国花火競技大会」であると、声高らかに宣伝してくださったものです。今年の総会には大勢の特別来賓をお迎えしました。

順不同で紹介いたします。会報『ふるさと大曲』でも記事として取り扱われ、また広告でもお馴染みの、妙乃湯、都わすれの佐藤京子女将や黒湯温泉の池田泰久社長、『ふるさと大曲』には広告出稿で常連であり、総会や2月の花火を観る会でも「私のこだわりの米アキタコマチ」を提供してくださる大仙市高関の佐藤久男さんご夫妻など。また姫神温泉スパ西遊喜専務も大曲西根から初めて参加していただきました。それとともに大仙市の各ふるさと会の代表も大勢参加していただきました。

J A 秋田おばこから「アキタコマチ花火米」、秋田民報社から最新号の「秋田民報」「虎落笛」「絵葉書」をそれぞれ参加者全員にご寄贈頂きました。

### 大好評！豪華なアトラクション

久しぶりに会う人、いつもの飲み仲間、学年が同じ、学校が同じ、いろいろな境遇の中でそれぞれが懐かしみ、楽しむのがふるさと会。話が弾めば酒も進む。日本酒は今年も大曲商工会議所から心づくしのプレゼント。それに首都圏大曲会でも用意してドリンク類はたっぷり。今回はアトラクションもバラエティに富んで大好評でした。民謡の千葉とし子さんをトップ



元幹事の棟方さん、佐々木さん  
市役所のみなさんと一緒に



力強く新舞踊を披露する富士琴美さん



福引き景品に自作の切り絵を提供して紹介される塩谷良二さん(司会 築地幹事)



特産品コーナー、地元大曲から参加の三人コンビ

地元企業や商店からご協力を頂き毎年大好評のお楽しみ福引抽選会。今年も築地良仁幹事と

### 大いに湧いた福引抽選会

大いに湧いた福引抽選会。今年も築地良仁幹事と

今年千葉さんは、千葉さんと同じ四ツ屋出身の黒皮羽生(本名佐藤重光)さん作詞の「人生模様」を熱唱。同じく黒皮さん作詞の「おまがり慕情」を歌手の菊池幸枝さんが披露してくれました。お楽しみ福引会を間にしてアトラクション第2部は大曲出身、浪曲で活躍する富士琴美さんの音曲付きの新舞踊。首都圏大曲会では初めての富士さんの踊りでしたが、一見の価値ありと大いに感じた特別披露でした。

## 大曲を故郷に持つ



若さが弾んで加藤結花さん

高田洋子さん。千葉さんの民謡には実のお姉さん林トキエさんの手踊りが特別に加わって花を添えました。

小松美智子幹事の名コンビで軽快に練り上げられました。当たりくじは全部で45本の豪華版。主として地元名産品が景品となつていますからみんな期待を膨らませ、当選番号が発表される度に大きな歓声とどよめきとともに大喜び。その他にも景品は、帝国ホテルの食事券、黒湯や妙乃湯、都わすれの宿泊券など超目玉も混じっていますから、抽選が進むうちに興奮も頂点に達します。この興奮も、抽選が終わるともうみんな疲れてくれたの感じでした。今年も大曲特産品のブースが会場内に設けられて人気を呼びまし

た。東京ではあまり見かけない「えご」や秋田の漬物類、大農のジャムやジュースも持ち込まれいずれも完売の大盛況でした。総会の締めは、首都圏大曲会鈴木繁副会長による名残の挨拶です。今年の盛会を喜び、「来年は八月四日、これまで同様に帝国ホテルを会場にして、暑氣払いを兼ねた総会にする」として、元気にまた来年会いましょうと呼びかけ、お開きとなりました。来年は納涼パーティーを兼ねて盛大に開催します。どうぞ今から予定表に書き加えておいてください。(大釜)

## 旬の秋田が高輪に。

Dining & Shopping

# あきた美彩館

Akita Bisaikan

京急本線品川駅 JR品川駅 高輪口 徒歩3分

東京都港区高輪4丁目10-8

ウィング高輪WEST-III 1階

TEL 03-5447-1010 <http://www.akita-bisaikan.jp/>

辛かった思いも星の彼方へ

夜空を彩る『希望の光』

# 感動呼んだ「大曲の花火」

特別プログラム  
愛と勇気と安らぎを

茨城県の株式会社山崎煙火製造所提供作品

写真提供：大仙市

## 被災地の復興

70万人の祈り込め



大会提供  
奥州曙光

悠久なる黄金の祈り

70万人の大観衆を魅了した大会提供花火「奥州曙光」

真夏の暑さもようやく和らぎ始める八月も後半。稲穂がわずかに黄色味を増して、吹いてくる風はどことなく秋の気配を漂わせる。

各地の夏祭りもほぼ終盤に近づき、そのアンカー役を務める「大曲の花火」が、

大仙市在住者は言うに及ばず全国の花火ファンを熱狂させる季節がやって来る。

大震災の悲しみ乗り越えて

三月のあの忌まわしい東日本大震災が、各地に甚大な被害を与えて人々の心

をさいなみ、東北地方に住む人だけでなく日本国民の心に大きな傷を与えた。

私たちは「絆」を合言葉に心を一つにして被災地の人々を励まし、各自出来る限りの支援をしながら気持ちを送り合った。あれからほぼ半年の時間が経緯し「大曲の花火」は盛大に開催された。

そのようななか八月二十七日、会場の雄物川河川敷は約七十万人の大観衆で埋め尽くされ、昨年同様の一万八千発の華麗な花火が夜空を彩った。

「絆」を合言葉に祈りの大会

今年のテーマは「元気な日本」。これは東日本大震災前に決定したテーマというが、あの頃遅々と

# 絆を大切に！ みんなで支え合う力



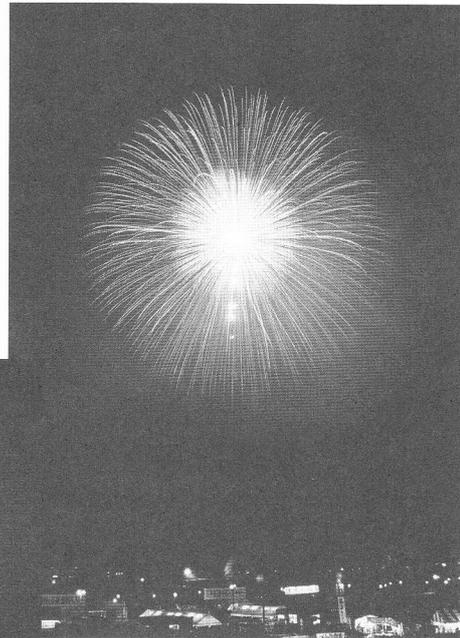
して進まぬ被災地の一日も早い復興を祈る意味でもじつに相応しいテーマで、同じ東北地方に住む被災者たちを大いに元気づけた。

会場では大仙市が岩手県などから招待した被災者が、見事な花火に歓声をあげていた。

「地震で助かっただけでも幸せと思っていた。今日は（話

## 被災者を招待

## 花火のスケールに圧倒

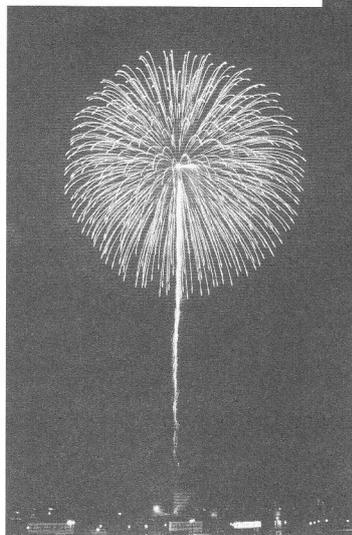
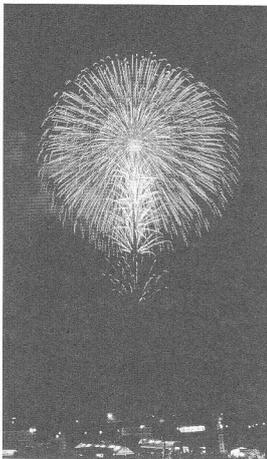


に聞いていた)大曲の花火を観ることが出来て沢山の元気をもらった」と話す人

もいて、「大仙市はいいことをしているな」とつくづく思っただけだ。これがお

互いに支え合う東北人特有の温かい人情と感性というものだろう。これまでの大会とは違う意味合いとスケールの大会だった。

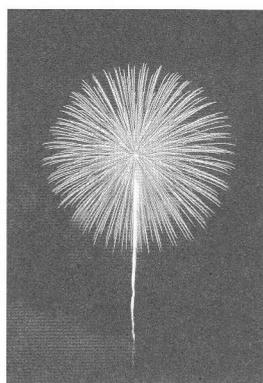
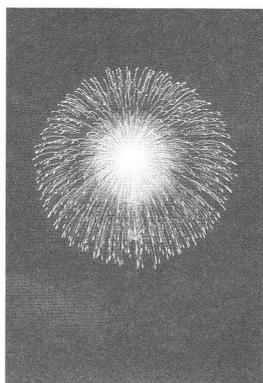
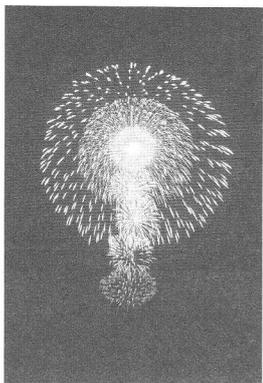
なお来年2月19日首都圏大曲会主催で、DVDによる「第3回東京で大曲の花火を観る会」を開催します。詳しくは12ページをご覧ください。(大釜)



## 光の輪が弾け

## 被災地の空へと広がる

## 18,000発が中天の花となって



絢爛豪華に 一日も早い復興を祈り、思い思いの情感を込めて花火は打ち上げられた

# 2011年 大会テーマ 「元気な日本」

## 東京で大曲の花火を観る会 & カラオケを楽しむ会のご案内



日時 平成24年2月19日(日)

午後1時～4時30分

(受付開始 12時30分)

会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

会費 一人 五千円(弁当、飲み物付)

申込み方法 ①氏名(ご家族、友人・仲間

などグループで参加の場合は参加人数も)

②住所、電話(グループで参加の場合は代

表者の電話)。首都圏大曲会事務局まで電

話あるいはFAXでお申し込みください。

申し込み先 首都圏大曲会事務局

電話 03(5213)2028

FAX 03(5213)2029

### 飛入り大歓迎!

今回も、花火観賞の後は  
カラオケ大会を行います。

どなたもお気軽に  
参加できます!

第85回大会 DVDの映像で

## 東京で〈大曲の花火〉を観る会



カラオケタイムになれば座は一段と盛り上がり賑やかに

首都圏大曲会会員外の方もどうぞ!

「大曲の花火」は文字通り世界一の花火大会。東日本大震災

から一日も早い復興を祈り、今年の大会テーマは「元気な日本」。

首都圏大曲会は今年も大曲の花火を東京で観て、一緒にカラオ

ケを楽しむ会を企画しました。どうぞお気軽にご参加ください。

一度大曲の花火を観たい  
という声を良く聞きます。

中には○△の花火もすごい  
よ、△□の花火のほうが豪  
勢だと、お国自慢や身近な  
土地自慢で花火の比較をす  
る人もいます。

しかしそのような自慢も  
「何とたわいのない自慢だ  
こと」と、笑って受け流せ  
るほどの余裕をもって接す

ることのできるのが大曲の  
花火の凄さです。

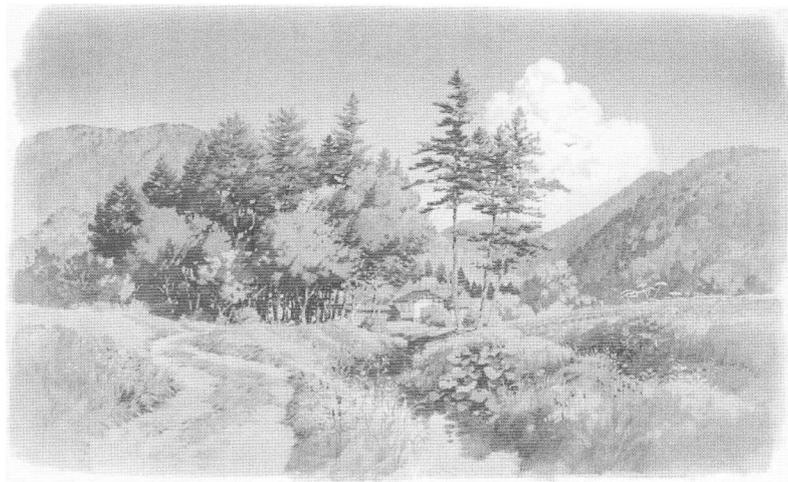
一度は観に行きたいなど  
と言わずに何度でも大曲へ  
足を運んで貰いたいと思っ  
ますが、まずその前に東京  
で開催されるこの会で、大  
曲の花火の感触を楽しんで  
頂きたいと思います。この  
夏、大会に参加した人も、  
まだまだ観たことのない人  
も、ちょっと会場を覗いて  
みてください。そこには「花  
火弁当」を挟んで秋田の酒  
を楽しみ、花火談義を楽し  
む仲間の姿があります。こ  
の会は大曲会以外の人も大  
歓迎です。

### カラオケ大会も

### 呼びものです!

花火を観た後は引き続き  
カラオケを楽しむ会も企画  
されています。どうぞご家  
族、ご友人誘い合っってご参  
加ください。

# 市内小・中学校に「ふるさと納税文庫」を整備



「ふるさと納税制度」のパンフレットより  
(大仙市出身 男鹿和雄さんの作品)

## 大仙市ふるさと応援基金

### 動き出した『善意の力』

人は年齢を重ねれば重ねるほど古里を思うもの。豊かな緑、遙かなる山並み。清き水の流れは母なる玉川、父なる雄物川。美しい我がふるさとをより豊かにするために、多くの善意による『ふるさと納税』は今、生かされようとしています。

### 今年度は九月末現在で 一七九万二千元（県内6位）

『ふるさと納税』の制度が始まって以来大仙市は、秋田県内でも常にトップクラスの金額が集まっています。

平成22年度、『ふるさと納税』として大仙市に寄せられた寄附総額は七三五万七千円で、これは秋田県内では第2位の好成績でした。

今年度も県内、県外に在住する方々からの寄附は順調に寄せられています。九月末現在で一七九万二千元となっていて、これは県内自治体の第6位。もうひと息の掛け声と行動による協力が欲しいところです。

大仙市はこれまで『ふるさと納税』として寄せられた寄附金を一定の額に達するまでプールしていましたが、今年度、初めての「ふるさと納税を活用した事業」を実施するとの発表がありました。

### 市内の各小・中学校に 豊かな読書環境を整備

『ふるさと納税』活用で大仙市は各小・中学校に「ふるさと納税文庫」の整備を決めました。これは読書環境を整え、児童・

生徒が広く図書に出会う機会を作ろうという趣旨。その健やかな成長、教育の充実を図り、寄附者の思いを形にして、ふるさと納税制度の周知が目的です。

「ふるさと納税文庫」は、それぞれの学校の図書室などへ設けます。ここに整備する図書は、各学校の先生や学校支援ボランティアなどの協力を得ながら、児童・生徒が主体的に選定します。

『ふるさと納税』活用のスタートに当たり、この制度をより広く理解してもらう広報も、その目的の一つになっています。選定される図書は、教育的観点からの学校図書にふさわしいものが選定されます。分野別には、歴史、伝統、文化、自然、人間、社会、産業、伝記などが考えられます。

### 「ふるさと納税」の方法

#### ▼ 寄附の手続き

- 1 寄附申込み書で手続き  
寄附申込み書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メール、または直接、大仙市役所総合政策課へ。
- 2 納付書の送付  
お知らせ戴いた寄附の方法に基づき、総合政策課から納付書をお送りします。
- 3 寄附金のお振込

最寄の金融機関などから寄附金をお振込みください。  
4 寄附証明書の発行、送付  
後日、大仙市役所から寄附証明書を発行、送付します。

#### ▼ 税制上の優遇措置

所得税と個人住民税の控除が受けられます。  
都道府県、市町村に5千円を超える寄附を行なった場合、5千円を超える部分について、一定の限度までは所得税と個人住民税を合わせて全額控除されます。

#### ▼ 寄附の方法

- 皆さまのご都合に添う入金方法を次からお選びください。
- 1 ゆうちょ銀行、郵便局から  
払込取扱票（郵便振替書）
  - 2 大仙市指定の金融機関、  
納代理金融機関から納入通知書による振込み  
（市指定金融機関）秋田銀行及び支店  
（収納代理金融機関）北都銀行本店及び支店、大仙市内の秋田ふれあい信用金庫本店及び支店、大仙市内の秋田おばこ農協の支店、大仙市内の東北労働金庫支店
  - 3 右記1、2以外の金融機関からの振込み
  - 4 大仙市役所窓口（総合政策課）での直接寄付（現金）

### 五千円を超すと確定申告で控除されます

▼ お問合せ 大仙市役所企画部  
総合政策課地域政策班  
電話0187(63)1111(代)

# 生涯学習の成果発表

## 地域振興めざし新しい動き

「第2回四ツ屋まつり」が九月十七日(土)、四ツ屋公

民館や小学校地域を中心に盛大に開催された。大型の

「花火灯籠」が街を練り歩き、また公民館では歌や踊り

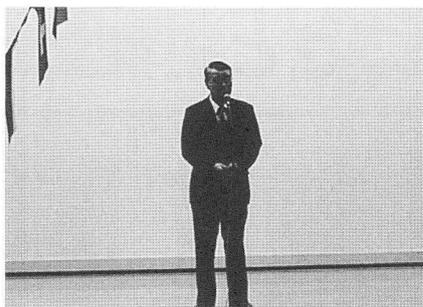
のステージ発表、生涯学習として取り組む各サークルの

作品展示、特産品即売や花火打上げと一日中賑わった。

### 栗林市長や児玉議長(当時)も参加

この祭りは四ツ屋地区コミュニティ会議(児玉協三会長)の主催で昨年から始められた。

折角の祭りを四ツ屋地区の住民みんなで盛り上げようと実行委員会(斉藤健太郎委員長)を組織して、子どもからベテランに至るみんなが参加でき、誰もが楽しめる祭りにしたもの。



挨拶をする栗林市長

## 四ツ屋まつり

### 大仙市四ツ屋コミュニティ会議が主催

今年の祭り当日は生憎の

雨。しかし多くの人々の期待と若者たちの熱気が重なって雨を吹き飛ばす威勢の良さ。

会場には多くの観客とともに大仙市の栗林市長、児玉大仙市長、市議会議員も見えて、地域の人々と雰囲気浸りに楽しんだ。

第2回の今年、祭りを盛り立てるシンボルにと四ツ屋

商工協議会青年部が、高さ

4.5メートル、幅3メートル

の、奥行き3.5メートルの

大きさの「花火灯籠」を作った。

武者絵や花火などの絵は、

青森出身のデザイナー佐々木

裕登さん(松倉在住)が描き、

五穀豊穡、商売繁盛などの文

字を入れて完成した。

一方メイン会場の四ツ屋

公民館の展示コーナーには、

パッチワーク、押し花、写真、

書道など多くの作品が展示さ

れた。これは生涯学習として

取り組んでいる公民館活動の

成果を発表したもので、それ

ぞれ目を見張る力作ばかり。

出品コーナーでは地元産の

野菜の即売や焼きそば、焼き

鳥など多種類の軽食や飲み物

が販売されて、来場者の憩い

の場となっていた。同級生や

近所の仲間と一緒にビールを

飲んだり、話はずんでは大

四ツ屋地区は、かつては大

曲町の郊外地区として存在し、

その後大曲市の誕生とともに

合併して今日の大仙市に至っ

ている。そういう環境の中で

この地区が中核となって開催

するお祭りの存在はなかった。

戦後は青年団活動の一環と

して、神社やお寺の境内、あ

るいは刈り取られた田圃の中

に手作りの舞台を作り、素人

演芸が流行ったこともあった

が、しかしそれでも娯楽とい

えば大曲で映画を観たり、大

曲の花火に胸を躍らされた

り、それは常に大曲の町と

もにあった。その中で人々は

それなりに刺激となり、活性

化されていた。

しかし徐々に時代は変わ

り、情報手段や交通網の発達

などとともに人々の価値観も

様変わりし、求める娯楽も変

わっていった。地域活動もか

つてのように、その地に住む

人の手で行なわれることも少

なくなり衰退していった。

四ツ屋まつりは、栗林市長

の挨拶にもあったように、そ

のような沈滞した状況からの

脱却を促す上で大きな刺激に

なった。それはこの地に住む

人々の手による力強い地域お

こしの一方策となり、活性化

に繋がる手段として、一層の

発展が期待できるものである。



四ツ屋公民館を中心に活動している生涯学習にはパッチワーク、押し花、写真、書道、その他色々な講座が取り入れられている。展示コーナーには学習の成果が賑やかに展示されていた



“花火灯籠”は若者たちの掛け声とともに町内を練り歩いた

## 花火灯籠パレードや作品展示

# ステージ公演 華やかに

## 千葉とし子さん(民謡)応援出演

体育館ではステージ発表が行なわれた。演目は多種多様で華やかに練り上げられた。四ッ屋小学校の楽器部、四ッ屋保育園とドレミ保育園の園児たちが元気いっぱい、かわい

いしぐさで演奏やダンスを  
発表し、満員の客席から沢山の拍手が送られていた。みんな昔の学芸会を楽しむ心境である。続いて踊りの同好会、大正琴の演奏グループ、大仙市民謡愛好会のメンバーやその他のグループが熱のこもつ

ステージ発表は満員の客で大賑わい



四ッ屋衆の前で歌う千葉とし子さん

た芸を披露した。  
今回のステージで注目を浴びたのは、四ッ屋出身で現在東京で活躍し、NHKの民謡番組にも出演している民謡歌



四ッ屋保育園のみなさん

手千葉とし子さんとその家族の出演だった。千葉さんのご主人は千葉藤丸会を主宰して家元を務める。子息の一洋さんは津軽三味線演者として修行中(19頁に関連記事)の民謡一家だ。四ッ屋まつりが開催されることを知り、郷



ハワイの青空を思い出すように、明るくフラダンスを踊るカ・フラ・シオマナのみなさん



ドレミ保育園のみなさん

里のみなさんの前で直接民謡を披露したいとの願いを実現させたもの。聴衆も万来の拍手で歓迎し、古里を思う千葉さんの気持ちに添えていた。  
夜に入り四ッ屋まつりは、呼び物の花火打上げとなった。大輪やスターマインなどと次々に花火が打ち上げられると、折からの雨も気にすることなく一発一発に熱い拍手と歓声を送られていた。  
四ッ屋公民館児玉庄司館長のはなし  
「第2回目の『四ッ屋まつり』は、地元若者の頑張り、老人クラブ等の高齢者にパワーを貰って大盛況で終わりました。千葉とし子さんらによる首都圏大曲会からのご支援は、まつりに華を添えて頂きました。これからも四ッ屋地域の活性化のために頑張つてまいります。」

秋田県の観光PR事業

# “大曲の納豆汁” 台湾で大好評

### 大曲商工会議所青年部の意欲的な活動

秋田のご当地グルメ七団体がそれぞれの売り物とする品に腕を振るった。大曲の納豆汁も評判を呼んで大混雑。(右下)



ご存じ「大曲の納豆汁」隊は九月八〜十二日までの五日間、台湾中部南投県の埔里と草屯を訪問し、秋田県の観光PR事業に参加しました。これは仙北市乳頭温泉郷の妙乃湯(佐藤京子女将)と深く長い親交のある台湾の政府関係者が、東日本大震災以降落ち込みの激しい秋田県の観光業界を応援するために、秋田県PRイベント【台日鼓舞節2011】の開催を企画。六月に使節団が訪秋し、秋田応援の提案を頂いたものです。

大曲商工会議所青年部

会長 辻 卓也

台湾南投県は一九九九年の台湾中部地震で最も被害を受けた地域。その際に日本と秋田県の方々から受けた多大な支援の恩義に、今回の大震災では是非お返ししたいとの有り難い申し出でした。

東日本大震災に際しては、既に台湾からは官民を合わせ二〇〇億円近い支援金が日本へ送られています。

『FOODPROあきた』の仲間である秋田県内のご当地グルメ七団体がこの話に感激して参加、訪台を決意。行政を通じて県内と山形県のお祭り団体にも協力を要請しました。秋田の竿

燈や男鹿なまはげ太鼓、生保内の手踊り、山形県酒田からは芸子衆も加わり、一行一六〇名で、「秋田県の食と祭り」を一緒にまとめてお届け」する観光PR連合軍が出来上がりました。

海を渡っての観光PRであったため秋田県にも協力をお願いしましたが、そのレスポンスは鈍いもの。ましてや機材や人の輸送も行政側では割高な見積りしか得られず、業を煮やした民間側が、台湾側との調整の上で、最終的には「チャーター機」を飛ばすことに決定しました。

そこでチャーター機を有効かつコストを抑えて利用するため秋田から台湾に向かう我々の帰り便には、台湾からの秋田観光ツアー客約八〇名が募集され、相互に二つのミッションが同時進行する展開に発展しました。一方で大仙市は、私たちの協



大仙・大曲の観光PRや納豆汁の販売にも積極的に協力してくださった台湾のみなさんとお別れパーティー。前列中央に山王丸副市長や妙乃湯の佐藤女将の顔も見える

## 「妙乃湯」佐藤京子女将が一役

# 大仙市 山王丸副市長も同行

力要請に添えてくださり、山王丸副市長ほか担当者三名が私たち一行に同行。台湾側との懇親はもとより、大仙・大曲の観光PRや納豆汁の販売にも、一緒に汗を流してくれました。台湾とは大曲青年会議所（JC）が十数年にわたり、台湾・中和市のJCと交流事業を継続して来たという土台があったため、山王丸副市長には、中和市も表敬訪問いただくことが出来ました。

◆ 台日鼓舞節は埔里と草屯で各一日ずつの開催でしたが、連日のTV中継、市内一番の大通りでのパレード、様々なアトラクション、台湾のご当地グルメや商店の出店など私たちの想像を超える巨大なイベントでした。対日感情が非常に良い台湾ゆえ、スタッフや参加住民からも一九九九年の支援への感謝と温かい励ましを口々にいただきました。全てが震災後の日本と秋田県を応援するための日本と秋田の対応ぶりでした。

◆ その善意に応えるべく私たちも奮闘しました。輸送スペースと税関上の制限から食材と調理器具を全て持ち込むことができず、ご当地グルメ七団体共に、現地であらゆる調達と準備をす

る必要がありました。また下ごしらえや調理は会場近くの幼稚園や中学校の調理場をお借りして、勝手の違う道具と悪戦苦闘の連続でした。イベント出展の経験が豊富で、適応力・応用力の高い『FOODPRO あきた』のメンバーなので見事にやってのけましたが、流石に帰国時には疲労困憊。

◆ ところで、イベント会場では看板の【納豆汁】の文字を見てお客様が不思議な顔をします。いぶかしく思った私たちが聞いてみると、なんと台湾で【汁】とは、ジュースの意味であることがわかりました。なるほど、そこで大急ぎで納豆スープを意味する【納豆湯】に書き換えたところ行列ができる人気になったものです。

◆ 台湾では今、日本の納豆が健康食として注目を集めていると言います。そこで急遽二工夫。パクチー（香草）や湯葉の油揚げ（おこげの代換え）など現地の食材も選べるようにしたところこれは大当たり。大好評でした。まさに日台の食文化の融合と言えましょう。

◆ 竿燈やなまはげ太鼓、酒田市の舞子さんも大人気。行く先々で大歓迎を受けました。

# 大歓声に迎えられて

## 竿灯の妙技、吼えるナマハゲ



竿灯の妙技には台湾の人もビックリ



突然のスコールに襲われても現地の人は慌てる様子もない

台湾の皆さんの情熱と歓待、温かい心遣いに感動し続けた五日間でした。今回のご縁を得て、台湾と秋田県の継続的な文化交流につながるものかと、今私たちは密かに作戦を練り始めています。その実現は、来年の「大曲の花火ウィーク」あたりでしょうか。首都圏大曲会の皆さん、是非応援をお願いいたします。

故郷でのお集まり、お泊りに  
西根の湯っこで  
遊ったりのんびり  
喜ぶ顔がみたいから

姫神温泉

（ス）（パ）西遊喜 大曲西根字鳥居215-9  
tel 0187-68-2639

秋田清酒株式会社  
秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三の一  
・お酒は18歳になってから、お酒はおいしく適量を、  
妊婦中や授乳期の飲酒はお控えください。

出羽鶴

TEL 0187 (63) 1224  
FAX 0187 (66) 2277

平成二十三年  
全国新酒鑑評会金賞受賞  
でつる

大地の恵みとともに  
秋田の心を醸す

伝統の銘酒  
刈穂

http://www.igeta.jp/  
e-mail info@igeta.jp

首都圏大曲会

# 羽ばたく 若者たち



はたけ やま かず ひろ  
**富山一洋さん**

## 津軽三味線で大成めざす

激しく変化する時代のうねりを受けながら、首都圏大曲会の若い仲間の中には、大きな希望を胸に頑張っている人が大勢います。この方々への応援を込めて、熱く紹介するページを新設しました。今号は津軽三味線で大成をめざす富山一洋さんです。聞き手は首都圏大曲会大釜会長です。  
なお会員のお知り合いの中で該当すると思われる方をぜひ首都圏大曲会事務局までご紹介ください。

— お生まれはどちらですか。

富山 秋田市です。一九七七年一月十二日生まれです。

— この世界に入ろうとしたきっかけは。

富山 両親は民謡を職業としていましたが、私は普通に過ごしていました。ところが三年前、

父が藤丸会の家元を継ぎ、母が財団法人日本民謡協会から「民謡功労賞」を戴いたことがきっかけで、三味線を始めることになったのです。今は三年連続で津軽三味線の名古屋大会に出場しています。

— 矢張りご両親の影響が大きい…

## 津軽三味線で全国大会で 優秀な成績を収めたい

富山一洋さんは藤丸会(尺八)家元を父に、母は民謡歌手として知られる千葉とし子さんです

富山 はい。恐らく両親が民謡をやっていないかったら、私は違うことをしていたと思います。小さい頃に教えられたみたいですが、すぐに止めてしまったみたい…。(笑)

本格的には三年前からですね。最初は母に『やってみない?』と言われて始めましたが、今は両親に厳しく教えてもらっています。津軽三味線は専門の先生に教わっています。

— 芸の道は厳しい、とはよく言われます。どうですか、辛くはありませんか。

富山 稽古は好きですので辛く感じることはありません。一生懸命稽古をして、その結果、舞台上で上手く出来た時はとても嬉しい…。(笑)

— 初舞台はいつでしたか。

富山 稽古を始めてから二か月でした。とても緊張して…。あの緊張は今でもはっきり覚えています(笑)。それから一年後に津軽三味線の全国大会に出場しました。

— もう緊張することはない…

富山 いえいえ、今でも舞台は緊張し通しです。(笑)

— 最近はお家族で出演することも多くなりましたね。

富山 家族で演奏することは、月に一度ぐらいです。(親と言っても)プロと一緒にやらせても

らっているので、とても勉強になり、自分の為になっていきます。上達するためにはとても良い環境に育っていると思っています。

— 恵まれた環境ですね。

— ところで得意な曲は?

富山 やはりそれは、出身県の『秋田荷方節』ですね。この曲を演奏していると、自分も乗ってきます。

— ところでこれからの夢は何ですか。

富山 今の夢は津軽三味線の全国大会で優秀な成績を収めることです。そして民謡の仕事も沢山できるようになればと思います。

— ご両親は民謡の世界で大活躍です。ご両親をどう思いますか。

富山 子どもの頃両親には、普通の仕事をして貰いたいと思っていました。しかし今ではとても尊敬しています。誰もが出来ない仕事で収入を得て、私をここまで育ててくれました。私自身、もっともっと頑張つて、両親のようになればと常に考えております。

— 益々稽古に励み、ご両親を飛び越える立派な芸能人になってください。一洋さんにはその血が流れているのですから。今日は若々しく、希望に満ちたお話を有難うございました。(大釜茂璋)

豊かな自然を有する大仙市に工場を誘致して、より活性化を図ろうとする試みは、これまでも積極的に進められてきています。既に大仙市進出を果たした企業からはいろいろな製品が社会に提供されております。しかし私たちは、わが大仙市でどんな生産活動が行なわれ、それが社会でどう活用されているものなのかをよく理解していないという傾向があります。そこで大仙市にどんな企業が進出してどんな製品を生産しているか、各企業を訪問をしてお伺いすることにしました。今号の訪問は、医療白衣の生産で知られるナガイ白衣工業株式会社です。



澤登一郎社長

昭和44年 旧南外村に設立  
医療・介護者用白衣製造の大手企業

## ナガイ白衣工業株式会社



ナガイ白衣工業株式会社本社・カッティングセンター

ナガイ白衣工業の主な製品は何かですか。  
日本に多数ある医療機関、特に病院、医院、歯科医院等に従事されている方々の白衣に特化して、白衣を生産しています。最近では介護服や手術着の分野にも参入しています。生産している白衣の特徴は？

「企業理念を教えてください。」  
社是に「人の和」を掲げています。それは、人は一人では何も出来ない事と説いています。また尊い命を献身的に守る医療従事者に私たちは、彼らが快適に仕事出来る白

病院用白衣として、静電気による不快な身体への衣服のまつわり付きや静電気災害、エレクトロ

ニクス機器への悪影響の心配等をなくするための制電製品、防汚性に優れた製品、院内感染の早急な対策が求められていた

M R S A 抗菌ウェア、自然環境や資源を大切にしたいエコマーク認定の看護ウェア、予防衣、診察衣等を製造しています。最近のハイテク機器を駆使し、同時に多数の国家技能検定合格の資格を持った技能士と熟練者が、「着る人の身になつて造る」をモットーにして活動しています。

衣を作ること、社会貢献をしています。

大仙市に進出はいつですか。

昭和44年10月20日設立で、創業は翌年3月20日です。

農家の農閑期と

製品の生産時期が一致

大仙市に進出した一番の理由は何かですか。

秋田県庁による紹介ですが、当時の旧南外村商工観光課では、半農のこの村を、出稼ぎしなくても、この地域に定住して仕事出来るようにしたいという願いがありました。この企業の親会社であるナガイレーベン株式会社(東京・千代田区)の販売の最大ピーク時期が3月～4月であるのに対し、この地域の農家の農閑期が大体10月～4月で、生産のための労働条件が合致することが、進出した大きな理由です。

大仙市の長所は豊富な労働力と安定生産

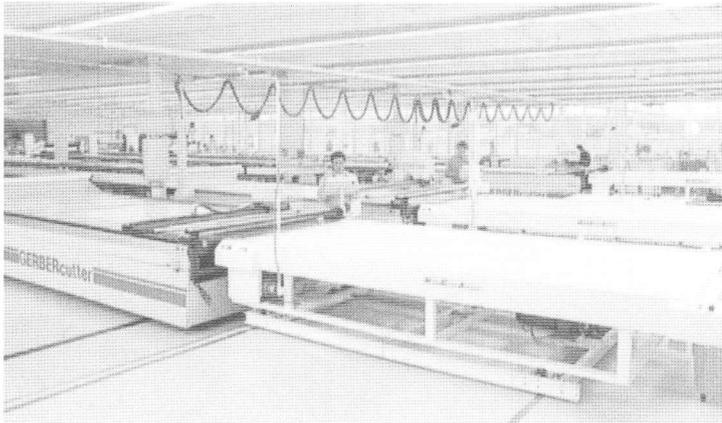
進出してみて、大仙市の長所、短所をあげるとすれば・・・

長所は豊かな自然、優秀な人材、豊富な労働力に恵まれ



### アパレルCADシステム

コンピュータによる図形処理機による型入れ作業  
布を裁断するために使用する型紙のデータを作成する作業



### アパレルCAMシステム

コンピュータによる自動裁断機。上の写真にあるCADで作成したデータにより、実際に布を自動で裁断する作業

て安定生産ができることです。短所?・やはり雪ですかね。でも慣れました。従業員についてお伺いします。従業員数は何名ですか。全部で四十一名です。そのうち男性社員が八六名、女性社員は三二五名です。

年齢構成は?

男性が四一・四歳、女性が四三・六歳。社員の平均年齢は四三・一歳です。従業員の特徴としてどんなことがあげられますか。

労働集約型の縫製業としては、工賃の安い海外への生産シフトが仕方ないことになっていますが、当社は今でも日本国内で6割近くの生産を行なっています。8割を占める女性社員の中には3世代にわたって働く家族もいます。

### 盛り上がるバレーボール大会と綱引き大会

従業員の福利厚生活動としてイベントも盛んに行なわれると聞いています。その目的は?



会社設立記念バレーボール大会の開会式

大きなイベントの一つに、毎年十月に開催される設立記念式典に際して、設立記念バレーボール大会と綱引き大会があります。当初は創業月の三月に、創業記念式典と併せてバレーボール大会を行なっていました。秋田の三月はまだ冬の寒さが残っていて寒さが厳しいです。そういうことからスポーツ大会としては、気候の穏やかな十月の設立月

に行なったほうが良いということになり、時期を変更して開催することになったものでした。

現在は企業グループ内12チームによるバレーボール大会、20チームでの綱引き大会として回を重ねています。参加者は応援団も含めて六〇〇名を超える大イベントとなっております。また大会合間の昼食では、各工場で作る「なべっこ」の味も、参加者の楽しみの一つになっています。

イベントのその2としては、一月に行われる新年顔合わせ会があります。創業時は十六名だった社員数は、現在では自社工場が4工場、協力工場も12工場となり、四〇〇名を超える自社社員に加え、協力工場の社員を合わせると六〇〇名を超える新年会として、毎年続いております。

この二大イベントによっ

# 設立記念スポーツ大会



広い体育館で設立記念バレーボール大会の熱戦が繰り広げられた

## 燃える！ 六〇〇名参加の大イベント

### バレーボール大会



さあ 頑張っていこう！

いつもの団結力が生かせたらセツタイに勝てる

で、社長から社員一人ひとりに至るまでの、年二回の大切なコミュニケーションの場が  
つくられています。これは全社員の親睦の  
場としても当社の大事な行事と位置付けら  
れております。

地域との交流はどつですか。

大曲商工会議所主催の野球大会、大仙市  
職場対抗バレーボール大会、最近では実業  
団としてソフトテニス大会などに出場し  
て、地域との交流を深めています。

**社員を大切に、地域に  
愛される企業を目指す**

大仙市に根を下ろしての企業活動ですが、今後  
の構想をお伺いしたい。

企業は人なりと言います。この会社を次  
世代に引き継いで貰えるよう、今働いてい  
る社員の方々を大切にして、地域に愛され  
る企業を目指しています。

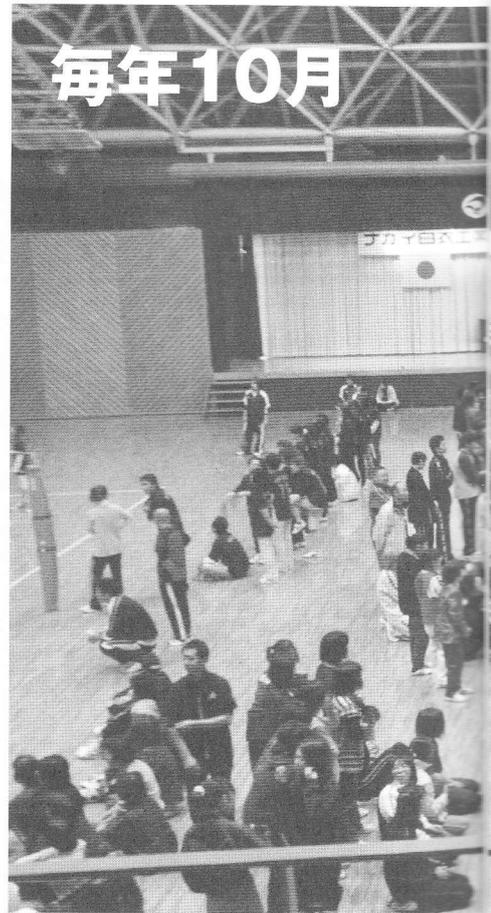
それでは最後にナガイ白衣工業から、大仙市民  
または所縁のある方々へ伝えたいことをお願い  
します。

医療用白衣の6割の生産を支えている大  
仙市。これからもわが国の白衣生産の要の  
町にあつて、ナガイ白衣工業も大仙市とと  
もに発展したいと思っております。

◇  
若々しいエネルギーのもと、活発な企業活動  
の展開が大変魅力的に感じました。私たちの健  
康を支える医療用の白衣。その6割を大仙市の  
工場で生産されていることを誇りに思いま  
した。ナガイ白衣工業の一層の発展を祈り、地  
域への貢献に心から感謝いたします。(大金)



ニコニコ、わいわい 勝っても負けても楽しかったなあ



それ引け！もうひと息だ うーん、こちらの組は力が入ってる 右側のカメラ撮影者は澤登会長



みんな良く頑張った

“魚と遊んで遊ばれて”

本社

新木場工場

新砂工場

ビル事業部

〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号 電話03-3640-6411(代) FAX03-3644-5832

トトヤ  
魚屋の  
おやっ  
つてま  
す

おかげさまで  
創業45周年  
**45**<sup>th</sup>  
21世紀へ



東京水産工業株式会社

会長 佐藤重光

◇ふるさとのお昔話

# 長沢の

# 地藏さん物語

文 平野栄司  
切り絵 塩谷良二

むかし花館村（現大仙市花館）の中野部落の人たちは、伊豆山のすそ野や雄物川、玉川周辺の草刈場で、馬に食わせる草刈をした。

せる分も干して蓄えておかなくてはいならない。

ているうちに鎌の刃が減って切れなくなる。

馬は大きいのでたくさん草を食う。そのために、青草だけでなく、冬にも食わ

だから大量の草が必要になる。みんなは夢中になって一生懸命草を刈った。

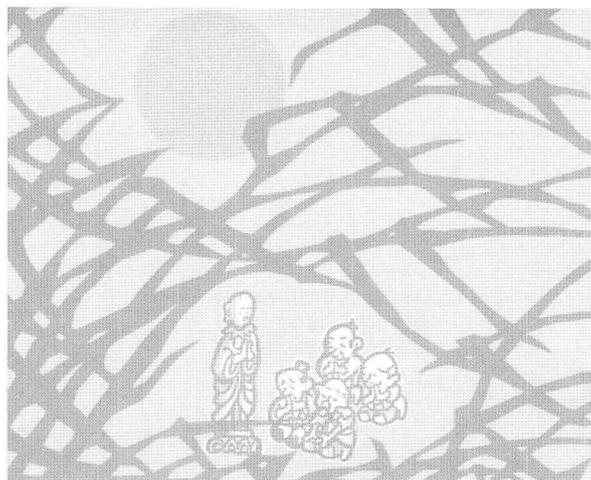
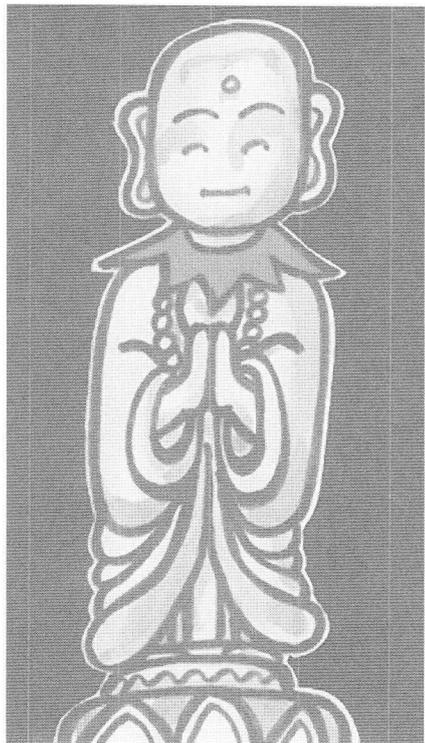
そこで鎌を砥石（といし）で研（と）ぐのだが、これが大変。「泣くほど研いで、笑うほど刈れ」という言葉があるほど念入りに研がない

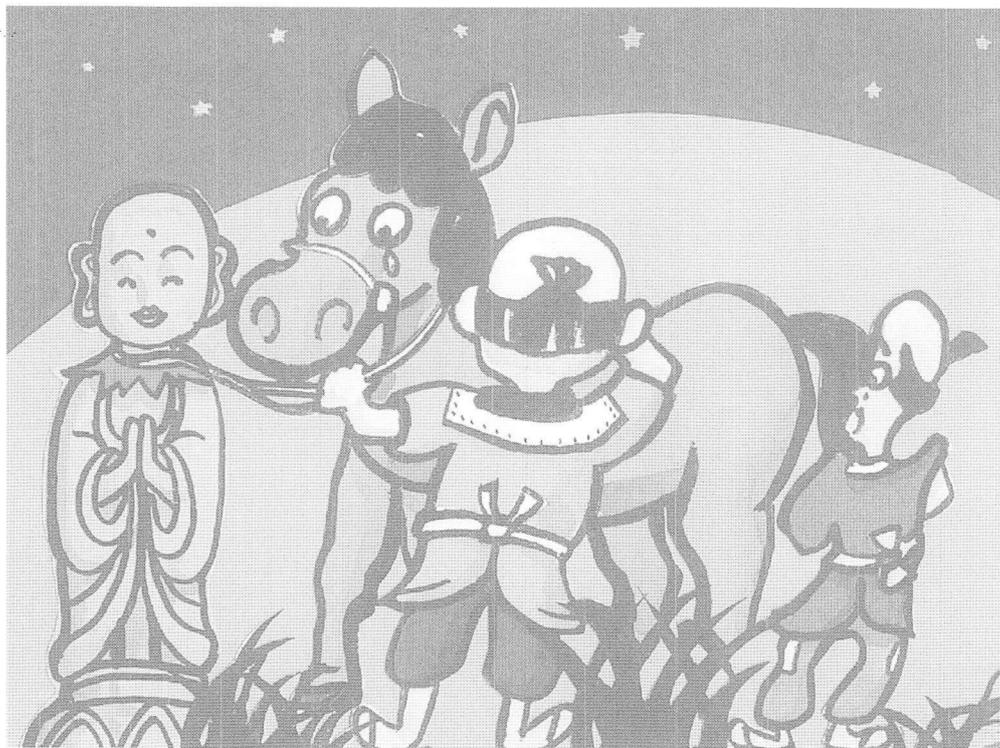
草は草刈鎌で刈る。刈っ

ければならない。

さて夕方になり、「今日の草刈はこれまで」と作業を止め、疲れきったからだにむち打って、ぞろぞろと声をかけあいながら人も馬も集まったが、どうした

とか馬が一頭いない。





「あつ、○△家(え)の馬こだ。どござえったべ」  
 みんなは驚き、大騒ぎをしながら四方八方探してみ  
 たが見当たらない。

日はもう暮れかけている。仕方なく明日の朝早く探しに来ることにして、沢の草むらに倒れていた地蔵さん  
 を起こし、みんなできれいに洗ったあと、いなくなっ

た馬の手綱を地蔵さんの首  
 につけ、

「明日の朝早く馬を探し  
 にくるからな。この手綱あ  
 ずかってけれ。もし馬が見  
 つかつたら地蔵さんに立派  
 なお堂を建ててやるからな  
 たのむじゃ」と言い、手を  
 合わせ拜んで帰った。

蔵さんのおかげ  
 だ」

「んだ、地蔵さ  
 んが馬を呼んで  
 くれたんだ」

「ありがたいこ  
 とだ。ありがた  
 いことだ」

そして約束ど  
 おり、

みんなで立派な  
 お堂を、沢の上  
 の高い所に建て、  
 地蔵さんを安置し、大切に  
 お守りすることにした。

次の日、まだ暗いうちに  
 部落の人総出で馬を探しに  
 出かけた。大急ぎで地蔵さ  
 んの所にかけて寄ってみると、  
 驚いたことに、昨日あれほ  
 ど探しても見つからなかつ  
 た馬が、なんと、地蔵さん  
 の前でおとなしく、あとか  
 も人々の来るのを待ってい  
 たかのように立っているで  
 はないか。

みんな大いに驚き、喜び、  
 口々に大歓声をあげ、

「馬が見つかったのは地

八月二十三日と二十四日  
 には、毎年、盛大に祭典を  
 執り行っています。

### 編集後記

▼師走となりました。今年の紅葉は遅れ気味と言われていましたが、気がつくくと大分葉を散らしています。東日本大震災を初めいろいろな災害の発生を見たこの一年でしたが、季節は着実に巡っています。

▼夏に開催された首都圏大曲会総会には久しぶりに百五十名を越す元気な仲間参加がありました。大震災以来、家族や仲間の絆の大切さが改めて見直されました。本当に困ったとき、力になるのは人と人との関わりであり、人間同士の温かい心の触れ合いです。

▼「大曲の花火」に大仙市は被災した人々を招いて激励したと聞きます。困ったときこそ人の情けが身に沁みるもの。心温まる市の行為でした。

(大釜)



首都圏大曲会

会員のひろば



「東京海峡」を作詞した

佐藤重光さん

(黒皮 羽生)

「東京海峡」はなかなか評判の作品ですね。

黒皮 お蔭さまで平成14年に、「日本詩人連盟賞」を頂きました。

― 作詞した背景などを ―

黒皮 東京湾にレインボーブリッジが出来たころの作です。当時日本経済は好調で、大都会東京は、

夢や希望、そして憧れが入り交じって、それは賑やかで華やかでした。しかしその裏には、失敗や失望、失恋や挫折など、哀しい物語も沢山潜んでいたのです。

そんな現実の中でも若者たちは、夢を語り将来を語り、そして愛を語るのですが、時には失望の波に呑み込まれることも多かったのです。しかしそれでも、未来に夢を託しながら旅を続けました。それが偽りのない人生というもので、その只管さ、純粹な心を

失うことなく頑張って行こうという気持ち、そんな気持ちを大切に温めながら作詞したものです。

― 人生で順風満帆になんて、そうそう巡りあえるものじゃない。 ―

黒皮 旅を続けるということは、今より少しでも幸せになるうということ。前向きに生きること。それは己にとつての願望であり、結果的には平穏な世界に生きることであり、その願いは家族、友人、故郷、今住んでいる町、国、世界へ連続と続いているのです。

― 作曲の白川雄三さんという方は? ―

黒皮 もともとは住友商事に勤務する商社マンでした。在職中は石油を求めて世界60数か国を回ったという人です。定年退職後、街の音楽教室でピアノを習い、作曲も手がけて昨年、「月よあんたも寂しいの」で藤田まささんと賞のグランプリを受賞し、全国発売されています。「東京海峡」は5〜6回手を入れたそうですが、4〜5年程かかりました。

― これからの構想などをお聞かせください。 ―

黒皮 人間は誰もが詩人のセンス、詩人の才能を持ち合わせていると言われます。これからも他人の気持ちがあがり、それを読む人の心がわがわり、ノックして働きかけることができるといふような詩を書いていきたいと思っています。

東京海峡

作詞 黒皮羽生  
作曲 白川雄三

夢を失くした 男がひとり  
夢を追いかけて 女がひとり  
ふたりをつないだ 虹の橋  
出船入船 ゆりかもめ  
霧のお台場 涙を捨てて  
別れと出会いの 東京海峡

愛を忘れた 男がひとり  
恋を無くした 女がひとり  
ふたりを結んだ 海ほたる  
愛と恋とが かくれんぼ  
日の出日の入り 紅そめて  
さざ波寄り添う 東京海峡

過去を引きずる 男がひとり  
未来(あす)を探して 女がひとり  
ふたりが拾った 似た運命  
浮世舞台は ゆめみなど  
おまえあなただけ 小さな糧で  
漕ぎ出す幸せ 東京海峡

作詞した黒皮羽生は、首都圏大曲会幹事で東京水産工業株式会社会長の佐藤重光さん。「東京海峡」は、第一興商(DAM) 番号二七九八―八四、有線放送にも入っています。

菊をたむけて

朱華

軽井沢テニスコートに秋の空

栗ご飯おかはりしている母の味

新聞に大きく色づくナナカマド

足止めし癒しの香り金木犀

本門寺菊をたむけて七回忌

行きそびれ地面に散らばる紅葉狩

文化の日墓前で歌う千の風

朱華は、

大友律子さん(首都圏大曲会副会長)の俳号

仲間を訪ねて



佐藤重光さん



# カメラ紀行

## 静寂の季節

撮影・旅人

斉藤 貞助

左右の流れを集めては水煙とともに  
滝つぼへ吸い込まれる

# 晩秋

## 吹割の滝を行く



片品の清流が勢いをつける



冬を迎える高原の湖沼は静まりかえっている



葉を落とした木々も美しい

雪の季節を迎える前の、川床を引き裂くように  
流れ下る片品川の清流は、一層勢いをつけて  
東洋のナイアガラとも言われる「吹割の滝」に  
達する。高さ7メートル、幅30メートルのこの  
滝は国の天然記念物に指定され、四季を問わず  
訪れる観光客は多い。十月も下旬に近く、淡い  
光の北関東のしじまをカメラに収めた。



家族連れの観光客が賑やかにあいさつ交わして橋を渡って  
いけば、そこには少しの紅葉と秋の陽だまりが残っていた

### 『ふるさと大曲』

首都圏大曲会会報第12号  
平成23年12月23日

編集人:首都圏大曲会  
発行人:大釜茂璋

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304  
教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局  
電話: 03-5213-2028 Fax: 03-5213-2029  
e-メール: info@e-prosjp.com <http://www.supportlife.info>

表紙撮影:藤田征一 印刷・製本:秋田協同印刷株式会社

# 憩い

# 安らぎ

# 癒しの宿

## 秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1  
電話0187-46-2740



乳頭温泉郷 金の湯 銀の湯  
妙乃湯温泉



乳頭温泉  
都わすれ

## 秋田・田沢湖・抱返り溪谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか8室。全室抱返り溪谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84  
電話0187-44-2220